

<研究名称>

RPAによるASOリスクファクター通知における効果の検証

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 事務部 課長 阿部 直之

実施担当者 事務部 課長 阿部 直之

<研究期間>

倫理委員会承認日～2026年5月31日まで

<診療・研究の目的>

当院では2024年9月24日より、Robotic Process Automation（以下RPA）による閉塞性動脈硬化症の高リスク患者の検出を行い、2025年11月現在、3251件（重複通知含む）、電子カルテの患者掲示板に書き込みを行っている。

しかし、通知後の脈波ポリグラフの実施状況や、その結果に関しての検証は行われてこなかった。このため、RPAによる通知効果について後ろ向きに検証を行うものとする。対象の期間は2024年9月24日より2025年11月28日に通知した3251件とする。

<RPAによる通知判定基準>

- ① 翌日の外来予約患者
- ② 過去10年間のレセプト病名で下記4種類の語句をすべて満たす病名がある
  - i. 高血圧
  - ii. 糖尿病
  - iii. 高脂血症 or 脂質異常症
  - iv. 急性虚血性心疾患 or 虚血性心疾患 or 狭心症 or 狭心症症候群 or 狭心症三枝病変 or 労作性狭心症
- ③ 過去1年以内に脈波ポリグラフ未実施  
上記をすべて満たした場合、患者掲示板に高リスクであることを書き加える

<実施内容(方法)>

- ① 通知後の脈波ポリグラフ施行患者数の調査
- ② ①において実施された脈波ポリグラフで、ABI 異常値 (0.9 以下) の件数および以下の患者背景
  - i. 既往
  - ii. 受診した診療科
  - iii. 下肢痛の訴えの有無
- ③ ②に該当した患者のうち心臓血管外科紹介件数

以上を調査の上、RPAによる高リスク患者通知について以下の項目に関し検討を行う。

- i. ASO と診断された患者の有無。診断された場合、通知が診断のきっかけとなった形跡の有無。
- ii. 通知後に心臓血管外科に紹介した、診療科の分布。
- iii. レセプト病名の既往との相違 (本研究の限界)。

また、通知したすべての患者が ABI を施行されていないため、統計学的解析は行わないものとする。

<危険性 (副作用)等>

既存の情報を用いた後ろ向き研究であるため、危険性や副作用等はない

<倫理上問題になると考えられる事項>

本研究では既存の診療録情報を使用するため、個人情報の取り扱いが最も重要な倫理的課題となる。対象者の氏名・住所などの直接識別子は研究データセットに含めないことで匿名化を行う。データは院内のアクセス制限された端末に保管し、研究責任者のみがアクセス可能とする。データ漏洩のリスクはゼロではないが、適切な管理体制により最小化を図る。

<研究対象者の皆様へ（情報公開および研究参加拒否の機会について）>

本研究は、過去の診療情報を用いた後ろ向き研究です。対象は、2024年9月24日から2025年11月28日の間に当院を受診し、高血圧・糖尿病・脂質異常症・虚血性心疾患などの既往があり、RPAにより閉塞性動脈硬化症の高リスクと判定され、電子カルテ上で通知された患者さんです。

なお、データは匿名化されており、個人を特定できる情報は使用しません。

本研究への参加は任意であり、不参加による診療上の不利益は一切ありません。

また、参加の撤回はいつでも可能ですので、参加をご希望されない場合は、以下の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 事務部 デジタル推進室 阿部 直之

TEL:0166-22-8111、FAX:0166-24-4648